

一般社団法人 日本リハビリテーション病院・施設協会
医科・歯科連携推進委員会議事録

1.日 時	平成 28 年 10 月 26 日（水）14 時 00 分～15 時 40 分
2.会 場	つくば国際会議場 小会議室 403 右側
3.参加者	栗原正紀、若林秀隆、角町正勝、森脇美早、岡崎裕香 オブザーバー：佐藤修斎
4.議事録	記録：岡崎裕香

【議題】

1. 報告事項

1) 会長より

- ・嚙下手帳、歯科衛生士の勤務実態調査について理事会で紹介を行う。

2) 委員長より：口のリハビリテーション医科歯科連携インストラクター養成講習会(熊本)について

- ・参加者は 305 名。主な職種は歯科衛生士 106 名、歯科医師 92 名、言語聴覚士 53 名、看護師 17 名、管理栄養士 10 名、医師 8 名、理学療法士 7 名、介護福祉士 7 名、その他 5 名。
 - ・アンケート結果より、内容に満足している回答が多く、研修の充実度が伺えた。
 - ・委員会活動報告として、協会誌 2 月号に※別紙を掲載予定。
- ※別紙：委員会活動報告書（若林委員長作成）

2. 協議事項

1) 歯科衛生士の勤務実態調査報告書（報告書：別紙参照）について

- ・理事会（10 月 26 日）で調査要旨について報告を行う。
- ・今後の動きは、実態調査のまとめを再修正（誤字、用語の統一）し、印刷、配布を行う。
- ・日本歯科医師会に対しては、実態調査のまとめが別紙として必要か。
- ・医科歯科連携のニーズは高いが、実状としてどのように連携していけば良いかが分からない施設もあるため、そこに挺入れをする形で動いていくか。

→委員会としては医科歯科連携の流れを作ることが大切であり、各県歯科医師会を巻き込んで動くことが重要。

2) 医科歯科連携インストラクター養成研修会について

- ・次年度開催は長崎か、福岡か新たなところ（西宮協立リハ病院：兵庫県）があればそこで開催を行うか。
- 西宮協立リハ病院に関しては糸田先生に確認をとっていく。
- ・できれば年 2 回の実施を行いたい。
- ・医科歯科連携の拠点づくりが必要。
- 制度づくりのためにも実績が必要。各地でどのような盛り上がりがあるか、熊本を例にとり、日本歯科医師会に報告していく必要がある。
- ・国のモデル事業を取るができないか。

<決定事項>

- ・医科歯科連携インストラクター養成研修会を来年度は 2 ヶ所で実施する。
- ・1 ヶ所は 8 月の盆前に長崎で開催。
 - ➡長崎市歯科医師会へは角町先生が連絡をとり、調整を行っていく。
 - 日程調整はメールで確認していく。

3) 講演会（1月19日大阪）について

①講演会について

- ・講演会は高槻市医師会から後援を受けることが出来た。
- ・講演会の共催は日本リハビリテーション病院・施設協会 医科歯科連携推進委員会、高槻市歯科医師会、みどりヶ丘病院となる。
- ・協賛できる会社（カレイド、クリニコ、大塚製薬）をあたっていく。
→15分程度、製品紹介の時間を設けていくことで協力を依頼できないか。

<決定事項>

- ・講演会の受付時間は17時45分から開始。
- ・開会前に協賛できる会社の製品紹介の時間を設ける。
- ・講演会案内のパンフレットは森脇先生が引き続き作成していく。

②委員会について

- ・19日にみどりヶ丘病院で開催。
- ・委員会前にみどりヶ丘病院見学、できれば嚥下調整食の試食会も実施。
- ・翌日20日は、わかくさ竜間リハビリテーション病院見学予定。

次回：2017年1月19日（木）みどりヶ丘病院（A5階会議室）15時～

議題：①医科歯科連携インストラクター養成研修会について

②その他